



先月、「暖冬」と書いた矢先に大雪が降りました。

雪には慣れっこのこの街も大混乱で、道という道は渋滞、立ち往生する車もあちらこちらで見られました。

新潟県内で初めて「改正災害対策基本法」が適用され、8号線の一部区間では雪で動けなくなった車両の強制移動が行われました。

渋滞をやっとの思いで抜けたはずが車が動かなくなってしまったのか、夜遅くにスコップを持って歩いていく人や気になって眠れずに寝間着にコートを羽織って眺めている人たち、空になったコンビニの棚・・・。

ふと中越地震のころを思い出しました。

あの晩も街は大変な混乱で、何度も襲ってくる余震に誰もが眠れぬ夜を過ごしました。

日常とはかけ離れた世界。しかし、そんなときにこそ人間の本来の姿が見えてきます。

困っている人がいたら助けてあげたい。

今回の大雪の中でも、優しくて頼もしい気持ちをたくさん見かけました。

轍（わだち）にはまって動けなくなった車を見つけては、呼びかけ合うわけでもなく後ろに

回り「せーの」と声を合わせる人達や「やれやれ」という面持ちながらもトランクからスコップを取り出して黙々と雪を崩す人達（慣れた手つきはさすが！）や軽トラの荷台から除雪機を降ろしはじめる人も。

もちろん、家の中でも、外にいる人達を心配に思っている人も多くいたのだと思います。大変なときでしたが、そんな優しい気持ちをたくさん感じられた冬でした。

やっぱり雪国はあったかいなあ。

さて、雪も寒さもなんのその。

長岡市ではこの時期もイベント盛りだくさん。花火もありますよ。

詳しくは、長岡市のイベント紹介ページへ。

<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kankou/event/>

もう少し寒い季節が続きますが、時折差し込む陽光は日増しに暖かくなってきました。

美しい春はすぐそこ。新しい生活を長岡から始めませんか。